

## 児童が英語に親しみ、意欲的に活動できる授業づくり

友達やALTとかかわる活動場面を取り入れて

### 児童の実態

英語活動に興味があるけれど、ALTの先生とどうやってコミュニケーションをとればいいのかしら？



#### 手だて

学級担任が中心になって進める英語活動の授業

#### 手だて

日常の具体的な場面を設定したコミュニケーション活動

#### 手だて

国際理解を深める活動

#### 担任が進める利点

- ・担任自ら学ぶ姿を見せる
- ・児童の様子を理解している
- ・児童への支援ができる
- ・他教科の学習を生かせる

#### 日常のこんな場面

- ・フルーツショップで果物を買う場面
- ・保健室で養護の先生に体の不調を伝える場面

#### こんな活動

- ・ALTにアメリカの文化や習慣などを教えてもらう活動
- ・『英語ノート』を活用した外国の様子を知る活動



#### 成果

児童とALTが交流する機会を数多く設定したことにより、児童とALTとの交流場面が授業時間以外でも見られるようになり、交流が深まった。

#### 成果

児童にとって、身近な日常の場面を設定することにより、児童はより興味をもってコミュニケーション活動に取り組むようになった。

#### 成果

図書室で外国のくらしについて調べたり、教科の名前を英語で言ったりするなど、異なる文化についての興味・関心が高まった。

#### 見られるようになった児童の姿

- ・授業が終わっても、ALTの先生と遊びたいなあ！
- ・一緒に給食を食べた時に、好きな食べ物や遊びのことを質問したよ！

#### 見られるようになった児童の姿

- ・ロック先生との英語での会話が通じてきました
- ・学んだことを生活で生かしてみたいと思いました  
(児童の振り返りカードより)

#### 見られるようになった児童の姿

- ・外国のくらしを調べてみたよ
- ・英語でじゃんけんをしたよ
- ・教科の名前を英語で言えるよ
- ・ALTの先生にアメリカのことをいろいろと質問したよ

### さらなる向上に向けた今後の取組

- 【自分自身】・児童の知的好奇心を高めるような教材を開発する。
  - ・担任が中心になって英語活動の授業を進めるための校内体制を確立する。
- 【学校全体】・学級担任が自ら英語に親しもうとする態度を児童に見せる。
  - ・ICTについての理解を深め、積極的な利活用を図る。

